

# エースドッジボール

エースドッジボール（略称：Aドッジボール、Aドッジ）は、長野県岡谷市発祥のスポーツ。ドッジボールをベースに、いくつかのルールを追加・変更したゲームである。発祥地の同市内の小学校では体育の時間などに取り入れられ、毎年行われる大会に向けて盛んに行われている。

## 1 競技の概要

- ①モルテン社製スポンジバスケS B 2 T号を使用。
- ②内野 10 人、外野 6 人の計 16 人で競技を行う。
- ③内野にエースマンを設定。
- ④内野が当てられた場合、コート外へ出る（外野ではない）。
- ⑤エースマンが相手チームの内野競技者を当てた場合、コート内に復帰できる。
- ⑥相手チームのエースマンを当てた場合、コート内に復帰できる。
- ⑦エースマンが 2 度当たった時点で負けとなる。

## 2 チーム

- ① 1 チーム 16 名（内野 10 名・外野 6 名）で構成。うち 1 名はエースマン（内野）。補欠は他に 2 名以内おける。
- ②競技者は、1 セットの競技中交代することはできない。セットごとの交代は可能。けが等事故があった場合は、主審に届け出ることにより可能。
- ③エースマンは他の競技者と明確に区別できるようにする。

## 3 ルール

### アウトの基準

- ①相手チームの競技者が投げたボールが、内野競技者の体の一部に明瞭に直接当たって捕球できなかったとき。リバウンドしたボールを、内野の中で味方の内野競技者が捕球した場合はセーフとなる。
- ②二人以上が同時にアウトになるダブルアウトはない。

### 勝敗の判定

- ①先にエースマンが 2 回アウトになったチームが敗者。試合時間経過後は、エースマンが当たった回数の少ない方を勝者とする。
- ②同数の場合は内野に残っている競技者の多いチームが勝者となる。
- ③すべて同数の場合は引き分け。
- ④ 3 セット終了しても同数の場合は、全員によるプレーオフ決勝試合とする。内野競技者 1 名がアウトになった時点でそのチームが敗者となる。
- ⑤ 1 セット 7 分間、またはエースマンが 2 回アウトになればセット終了。
- ⑥ 3 セットマッチで 2 セット先取で勝ち。

### コートの選択

- ① 1 セット目はコイントスで決定。

② 2セット目はコートチェンジをする。

③ 3セット目はコイントスで決定。

#### 競技者の復帰

① 自チームのエースマンが相手エースマンをアウトにした場合 2名復帰

② チームのエースマンが相手の内野競技者をアウトにした場合 1名復帰

③ 自チームの競技者が相手のエースマンをアウトにした場合 1名復帰

④ 原則として当たった順番に復帰する。

#### 反則

次の違反をした場合は、相手チームのエースマンのボールとなる。

① 内野同士のパスをしてはならない。

② 5回以上のパスをしてはならない。

③ ボールのドリブルを行ってはならない。

④ 投げ方は自由。ただし、打ったり蹴ったりしてはいけない。また、投球後も自分の陣地内に着地しなくてはならない。

⑤ 一人5秒以上ボールを持っていてはいけない。

⑥ ラインオーバーをしてはならない。

⑦ アウトになった内野競技者がボールに触れてはいけない。

⑧ ボールがアウト・オブ・バウンズとなった場合。

#### その他

① 試合の開始は、エースマン同士のトスボールとする。

② 最初の1球目はエースマンに当ててはならず、当たってもセーフとなる。

③ アウトになった内野競技者は速やかにコート外に出なくてはならない。